

大村加奈子氏によるバレーボール教室（平成31年2月9日）



2月9日(土)、右京地域体育館において市内の小学生91人の参加の下、女子バレーボール元全日本代表で、現在京都府立北嵯峨高等学校教諭の大村加奈子氏と、天理大学バレーボール部選手、主催する(株)ビバの指導による、京都スポーツの殿堂「伝道事業」バレーボール教室が開催されました。

まず、大村氏から子どもたちへ「ボールを取る前に、『ハイッ』と大きく声を出すこと」と基本となる重要なメッセージが伝えられ、ウォーミングアップの後、学校も学年も異なるメンバーでチームを結成し、初対面同士と一緒にプレーをする形で教室がスタートしました。「腕だけでボールを取らない、足も使ってボールを運ぶ」、「膝の間は広くとる」といった技術面での指導に加え、「声を出している選手は強そうに見える、強そうに見えることが大事」といった心理面の指導もあり、アドバイスをすぐに実践しようとする子どもたちの姿に、未来のトップアスリートの可能性を垣間見ることができました。

基礎練習終了後、試合形式のゲームを行う頃には、子どもたちは大きな声でプレーし、チームワークにも磨きがかかっていました。

サーブ練習では、あと1点落としたら試合終了になる19対20の状況を想定し、サーブを決められるかどうか、自ら名乗り出た12人がチャレンジしました。全員成功とはいきませんでした。失敗してももう一度果敢に挑戦する姿勢に刺激を受けた子どもたちも多かったと思います。

最後に大村氏から、「バレーボールをやっていて自分がしんどくなったときは、原点回帰が大切で、バレーボールを好きになったきっかけを思い出してください。」と苦境を乗り越えるためのアドバイスが伝えられました。子どもたちにとって今回の経験がバレーボールをより好きになるきっかけになることを願います。